



走れる 歓びをカに、前へ。

岩手競馬

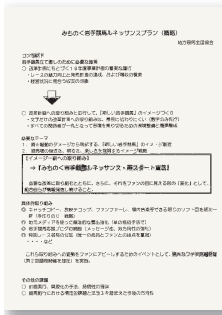
目標額に達せず、計画額を下方修正

第1期報告

昨年度末、存続か廃止かで岩手県民の注目を集めた岩手競馬。最終的には、構成団体からの330億円の融資（本市82億5000万円、岩手県181億5000万円、盛岡市66億円）により、存続することが決定しました。平成19年度の運営に当たっては、「収支の均衡を達する見込みがない場合は廃止」を掲げており、おおよそ2カ月間ことに収支実績をチェックし、経営状況について検証することとしています。今回は、第1期（4月7日の開幕から5月28日まで）の収支状況についてお知らせします。

※岩手競馬ルネッサンスプラン

競馬ファンのみならず県民の皆さんに新しい岩手競馬を目に見える形で発信し、岩手競馬の変革とこれによるイメージアップを図るため作られたプラン



第1期収支実績

1億2300万円のマイナス収支

平成19年度岩手競馬の第1期（4月7日の開幕から5月28日まで）収支実績は、下表のとおり収入計画額53億2200万円に対し、実績額が49億7000万円となり、3億5200万円計画額を下回りました（達成率は93.4%）。これは、自場発売額が計画額39億9900万円に對して、36億4000万円にとどまったことや、インターネット販売が、計画額2億4500

万円に對し、実績額が1億8400万円となるなど、勝馬投票券の売り上げが思うように伸びなかったことが原因といえます。この主な理由は、本場や場外発売所などの発売圏域の経済状況が上向いていないことや存続の決定が3月下旬にずれ込んだ影響があると分析しています。また、支出については、コスト削減に努めた結果、事業運営費について計画額より1100万円の支出を抑えることができました。しかし収入支出を総体的にみた経常損益では1億2300万円の赤字となりました。

第1期収支実績表 (単位: 万円)

区分	計画額	実績額	過不足額
収入			
発売額	50億3,000	47億2,300	▲3億700
その他	2億9,200	2億4,700	▲4,500
計(A)	53億2,200	49億7,000	▲3億5,200
売上原価(B)	40億2,900	37億8,700	▲2億4,200
差し引き(C=A-B)	12億9,300	11億8,300	▲1億1,000
支出			
競走関係費	3億9,000	4億1,100	▲2,100
事業運営費	8億3,300	8億2,200	▲1,100
支払利息	1,800	2,100	▲300
計(D)	12億4,100	12億5,400	▲1,300
経常損益(C-D)	5,200	▲7,100	▲1億2,300

コスト調整の仕組み

Q 売り上げが減少すると見込まれる場合、コスト調整はどのような仕組みで行われるのですか？

A 売り上げに依じたコスト調整は、競馬組合、競馬関係者、(馬主、調騎会、厩務員会)と構成団体で構成する「運営協議会(岩手県競馬組合運営協議会)」で行われます。収支状況の検証は、年度を5期に分け、開

コスト調整結果

4億8100万円のコスト削減

19年度、年間を通じて収支均衡を図り、競馬事業を存続するため、第1期の発売状況をもとに積算したコスト調整必要額は、総額で4億7200万円の減額でした(賞典費1億6100万円減、事業運営費3億1100万円減。当初計画額の6.7%)。岩手県競馬組合は「岩手競馬ルネッサンスプラン」の実行など競馬事業振興策、増収策を行う一方で、コスト削減を行わなければ年間収支が均衡しないことから、5月30日の幹事会、6月5日と12日のコスト調整部会を経て、6月23日の運営協議会

で最終調整を行いました。その結果、総額で4億8100万円をコスト削減することとし、当初計画を大幅に下方修正しました。

コスト調整の基本的な考え方

- コスト調整は、次の4つの考え方をもとに行われました。
- 1 新計画の経営指標に基づき、事業収入の25%の中で「競走関係費おおむね8%以内の額」「事業運営費おおむね16%以内の額」「財務経費おおむね1%以内の額」の枠組みを維持し、配分比は変えない
 - 2 この枠組みの中で売り上げやファンサービスに影響の少

第2期以降の岩手競馬

第1期はマイナス収支となったため、計画額を下方修正するにいたしました。岩手競馬ルネッサンスプランの継続的な実行や売り上げが落ちている場外テレトラックの発売強化、関係団体から提案された魅力あるレースやイベントの開催など競馬事業振興策を推進し、増収に努めます。

コスト調整額表 (単位: 万円)

区分	当初計画額	今回調整額	調整後の予算見込額
競走関係費(賞典費)	24億1,800	▲1億6,100	22億5,700
施設情報システム費	19億2,400	▲7,600	18億4,800
開催労務費	7億9,300	▲5,200	7億4,100
営業販売費	3億500	▲2,200	2億8,300
人件費	4億6,800	▲3,100	4億3,700
その他販売管理費	11億7,100	▲1億3,900	10億3,200
小計	46億6,100	▲3億2,000	43億4,100
計	70億7,900	▲4億8,100	65億9,800

催競馬場が変わるおおむね2カ月ごとに実施します。発売実績額が発売計画額を下回った場合は、それまでの発売実績額と次期以降の発売見込み額をもとに、年間の収支計画を見直し、コスト調整(その期までの収支差額分含む)を行い収支均衡を図ります。具体的には「運営協議会幹事会」で、収支分析と今後の収支予測などを行い、対応策を検討(発売額確保とコスト調整、次期収支計画の見直しなど)した上で「運営協議会」の構成員に主な取引会社(取引額が1億円以上)を加えた「運営協議会コスト調整部会」で調整した後、最終的に「運営協議会」で調整される仕組みになっています。

岩手競馬は、再生・存続に向けて走り続けます



【問い合わせ】
本庁企画調整課競馬対策室
(内線411、421)